

配信基本アプリケーションソフトウェア M-Signage JRE代替ソフトウェア移行手順書

<目次>

- [はじめに] JRE8の無償サポート終了に伴う今後の対応について
- [事前準備] 代替ソフトウェアの入手
- [STEP1] Apache Tomcatのサービス停止
- [STEP2] OracleJREのアンインストール
- [STEP3] 代替ソフトウェアのインストール
- [STEP4] Apache Tomcatの設定変更
- [STEP5] PCの再起動

[はじめに] JRE8の無償サポート終了に伴う今後の対応について

配信基本アプリケーションソフトウェア「M-Signage」(以降、「本ソフトウェア」と表記する)に使用しているJRE8 (Java Runtime Environment 8)は、2019年1月をもって無償サポートを終了すると、提供元のOracle社から案内されています。

Oracle社からJRE8の無償サポートが終了された後も、本ソフトウェアをご購入されたお客様は、引き続き無償でご利用いただくことはできますが、新たなセキュリティパッチを含むアップデートは提供されないため、Oracle社と有償サポート契約を締結する、もしくはOracle社のJRE8と標準の互換性を持つ無償の代替ソフトウェアへのご移行を推奨しています。

本書は、本ソフトウェアに使用しているOracle社のJRE8を標準の互換性を持つ代替ソフトウェアへ移行するための手順について説明した手順書です。

[事前準備] 代替ソフトウェアの入手

事前に以下のWebページから、Oracle社のJRE8と標準の互換性を持つ代替ソフトウェアのMSIファイル(インストーラ)、もしくはZIPファイルをダウンロードしてください。

■ AdoptOpenJDK:

<https://adoptopenjdk.net/> ※ OpenJDK8 / HotSpot を選択してください。

もしくは

■ Amazon Corretto 8:

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/corretto/latest/corretto-8-ug/downloads-list.html

※ファイルはお使いのPCのbit数と同じbit数のものをダウンロードしてください。

(64bit: Windows x64 / 32bit: Windows x86)

※M-Signageに必要なソフトウェアはJRE(Java Runtime Environment)ですが、JDK(Java Development Kit)にはJREも含まれますので、JDK、JREのどちらをインストールしても動作可能です。

※「Amazon Corretto 8」はJREのインストーラ(MSIファイル)の提供を行っておらず、ZIPファイルでのみ提供を行っています。

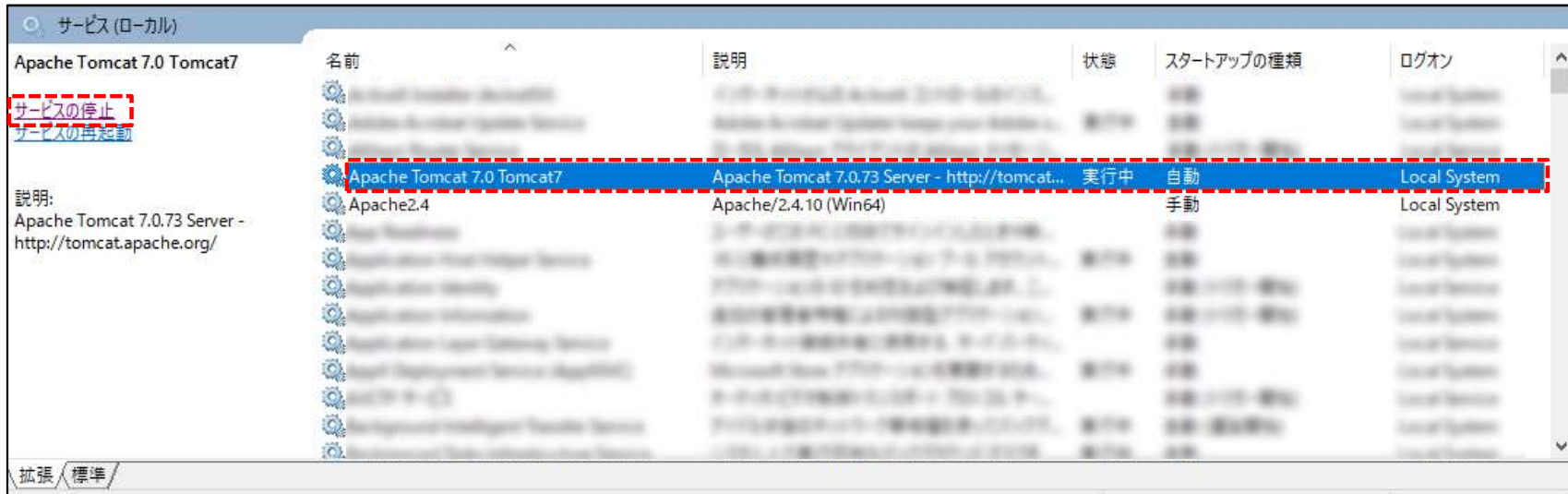
ZIPをダウンロードした場合は、ZIPファイルを展開し、C:¥program files の下に「jre8」フォルダを配置してください。

※本手順書では、例としてAdoptOpenJDK 64bit JRE のMSIファイル(インストーラ)を用いた手順をご案内します。

以上で事前準備は終了です。[STEP1]へお進みください。

[STEP1] Apache Tomcatのサービス停止

1. 「コントロールパネル」を開いて、右上の「表示方法」の中から「小さいアイコン」を選択し、「管理ツール」をクリックします。
2. 一覧から「サービス」をダブルクリックします。
3. 一覧から「Apache Tomcat 7.0 Tomcat7」を選択し、「サービスの停止」をクリックします。



以上で[STEP1]は終了です。[STEP2]へお進みください。

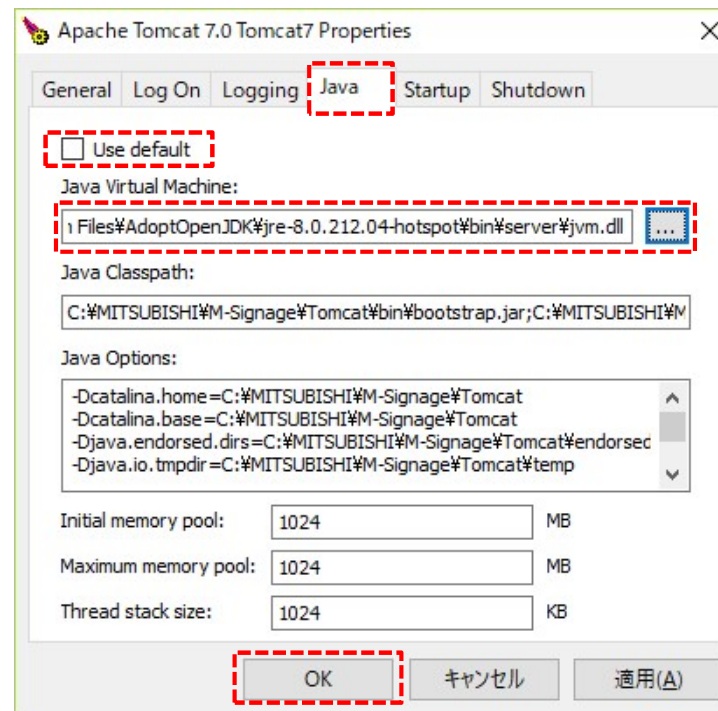
[STEP3] 代替ソフトウェアのインストール

1. 「事前準備」でダウンロードしたMSIファイルダブルクリックしてインストールを実行します。
※ZIPファイルをダウンロードした場合は、ZIPファイルを展開し、C:¥program files の下に「jre8」フォルダを配置してください。以降のインストール作業は不要です。
2. 「セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されます。「次へ」をクリックします。
3. 「仕様許諾契約書」画面が表示されます。記載内容を確認し、「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。
4. 「カスタムセットアップ」画面が表示されます。何も変更せずに、「次へ」をクリックします。
5. 「インストールの開始」画面が表示されます。「インストール」をクリックします。
※「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」が表示されたら「はい」をクリックします。
6. 「セットアップ ウィザードが完了しました」画面が表示されたら、「完了」をクリックします。

以上で[STEP3]は終了です。[STEP4]へお進みください。

[STEP4] Apache Tomcatの設定変更

1. スタートメニューから「Apache Tomcat 7.0 Tomcat7」を選択し、「Configure Tomcat」をクリックします。
※「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」が表示されたら「はい」をクリックします。
2. 「Apache Tomcat 7.0 Tomcat7 Properties」が表示されます。「Java」タブより、「Use default」のチェックを外して、「Java virtual Machine」に、[STEP3]でインストールしたOpenJDK8の「jvm.dll」のパスを指定します。
※ AdoptOpenJDK 64bit JRE をインストールした場合は、
C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jre-8.0.XXX.XX-hotspot¥bin¥server¥jvm.dll です。
AdoptOpenJDK 32bit JRE をインストールした場合は、
C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jre-8.0.XXX.XX-hotspot¥bin¥client¥jvm.dll です。



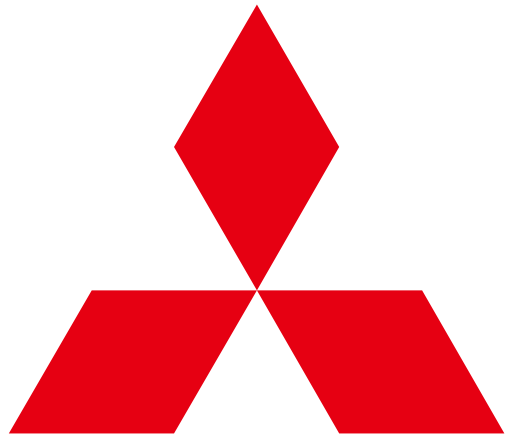
3. 「OK」をクリックして、「Apache Tomcat 7.0 Tomcat7 Properties」を閉じます

以上で[STEP4]は終了です。[STEP5]へお進みください。

[STEP5] PCの再起動

1. PCを再起動します。
2. [STEP1]で操作した「サービス」の一覧で「Apache Tomcat 7.0 Tomcat7」の状態が「実行中」であることを確認してください。

以上で移行は完了です。



**MITSUBISHI
ELECTRIC**

Changes for the Better